



経験を生かして  
地域のために活動していく

# キラリ天草人

平塚 壮さん (御所浦町)

「御所浦の子どもたちがバレーを楽しんでくれれば嬉しい」と笑顔で話すのは、御所浦ジュニアバレーボールクラブの代表を務める平塚壮さん。中学高校とバレーボール部で、大学でもバレーサークルに所属するなど学生時代はずっとバレーに携わってきた。御所浦小学校にはバレー部がなく、4年前に地元の御所浦町に帰ってきた際、小学生の保護者から、「子どもがバレーをしたいけん教えてくれんか」とお願いされ、小学生の社会体育クラブ移行に合わせて同クラブを設立した。クラブには小学2年生から6年生の15人が所属している。子どもたちの技量や年齢、クラブに入った時期もそれぞれ違うため、練習メニューは平塚さんが考え、その子に合った指導を心がけているという。設立して2年が経ち、子どもたちがパスなど基本の動きが上達することやあいさつができるようになるなど、成長する姿にやりがいを感じる。バレーのほかにも、地域のために活動したいと「嵐口春日太鼓保存会」の活動も行っている。毎週バレーの指導が終わってから和太鼓の練習に参加し、神社のお祭りや市内のイベントではメンバーの一員と

して和太鼓を叩く。「演奏後の拍手や、よかったよ」と声を掛けてもらうと、練習は大変だけどやってよかったと思う。地域の子どもの育成や伝統を守るために活動している平塚さん。御所浦町の良さをもっといろんな人に知ってほしいという思いがあり、地域の特徴を生かしたイベントをいつかやってみたいという夢も語ってくれた。自身の経験を生かして地域のために頑張る平塚さんの笑顔はとても輝いている。



1 クラブで指導する平塚さん 2 約15分の演奏に集中力を注ぐ 3 同保存会のメンバー

## 天草 文化財 探訪

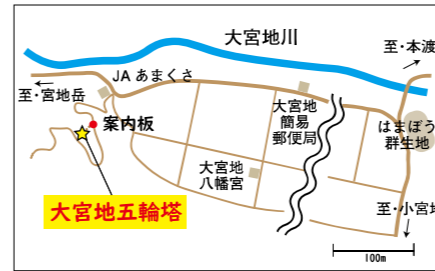
文化課 ☎ 32-6784

地域の歴史を知る上で欠かせないのが「文化財」。天草には206もの指定・登録文化財があり、一つひとつが歴史を語っています。ここでは、市内に残る文化財を紹介していきます。



鎌倉時代から戦国時代にかけて墓や供養塔の形の1つとして流行した五輪塔。当時、身分の高い人しかお墓を建てることができなかったことから、小宮地・大宮地・大多尾・宮野河内一帯を治めていた宮地氏のものと考えられています。市内各地に残っているものの中でもこのように破損も少なく、いくつもの塔がまとまって残っているものは天草の中でも貴重です。

他にも新和町一体には、宮地氏が拠点にしたと考えられている小宮地城跡など防御に優れた城跡が数多く残っています。



### 【見学時の注意】

移動させたり、コケなどの付着物を除去しないでください。

### くほんじ えんまどう 九品寺の閻魔堂 (有明町)



### 天草 見どころ図鑑

このお堂には、えんま様を含めた十王の木像10体が祭られています。十王は地獄の裁判官で故人の罪を10回に分けて裁くとされています。この裁判は亡くなった日から7日ごとに7回あり、100日目、1年後とつづき2年後に終了。初七日、四十九日などの法要は親族が少しでも良い裁きになるように願う意味もあるそうです。

#### ★見どころポイント

毎年、施餓鬼会 (8月20日) の日にだけ地獄絵図が公開され、見るすることができます。